

アビジン / ビオチンブロッキングキット

Avidin / Biotin Blocking Kit

1kit 12,000円 [A3665]

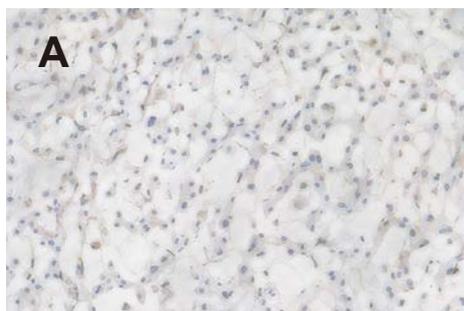
腎臓や肝臓、乳腺などの組織にはビオチンが多く含まれており、アビジン-ビオチン反応をベースとした免疫染色において、バックグラウンドの原因となります。本製品を用いることで、内在性ビオチンによる非特異的染色を抑制することができます。

キット内容物

- 1x Avidin Solution **15 mL**
- 1x Biotin Solution **15 mL**



利用例：ヒト組織凍結切片を用いた免疫染色



1. ヒト肝臓凍結切片を0.3% H₂O₂ / メタノールで処理し、1% BSA / PBSによりブロッキングする。
2. 1x Avidin Solutionを滴下し、室温で15分間静置する。
3. PBS(-)で2回洗浄する。
4. 1x Biotin Solutionを滴下し、室温で15分間静置する。
5. PBS(-)で2回洗浄する。
6. マウス抗Vimentin抗体と室温で1時間反応させる。
7. PBS(-)で4回洗浄する。
8. ビオチン標識抗マウスIgG抗体と室温で1時間反応する。
9. PBS(-)で4回洗浄する。
10. HRP標識ストレプトアビジンと室温で1時間反応する。
11. PBS(-)で4回洗浄する。
12. DAB染色を行い、流水で洗浄する。
13. ヘマトキシリン染色を行い、流水で洗浄する。
14. 脱水後、封入して検鏡する。

図.

A: A3665により内在性ビオチンをブロッキング

B: 内在性ビオチン未処理

内在性ビオチンを不活化することで、バックグラウンドを低く抑えることができた。

東京化成工業株式会社

試薬製品について

■本社営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 16-12 T-PLUS 日本橋小伝馬町8階
Tel: 03-3668-0489 Fax: 03-3668-0520 E-mail: Sales-JP@TCIchemicals.com

■大阪営業部 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜1-1-21 第2中井ビル1階
Tel: 06-6228-1155 Fax: 06-6228-1158 E-mail: osaka-s@TCIchemicals.com

スケールアップ、受託サービス(合成・開発・製造)について

□化成品営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 16-12 T-PLUS 日本橋小伝馬町8階
Tel: 03-5651-5171 Fax: 03-5640-8021 E-mail: finechemicals@TCIchemicals.com

弊社製品取扱店

本誌掲載の化学品は試験・研究用にのみ使用するものです。化学知識のある専門家以外の方のご使用はお避けください。品目や製品情報等、掲載内容の変更を予告なく行う場合があります。内容の一部または全部の無断転載・複製はご遠慮ください。